

V-3 わくわく、ドキドキ広がる世界

～高校生活は夢と希望とちよっぴり不安?～

対象：中学3年～高校1年の子を持つ保護者
時間：80分程度

ねらい	高校入学とともに通学範囲も広域化し、交友関係も広がる。そのような中で子どもたちが高校入学当初に体験しがちな心の揺れ動きを理解し、有意義な高校生活が送れるよう親として対応できるようにする。		
実施のポイント	○希望や不安、心の揺れ等この時期の子どもの状況を考える機会となったか。 ○親として、子どもの持つ不安や心の揺れにどう向き合うのか考える機会となったか。		
事前の準備	○会場は、机（テーブル）を部屋の隅に片づけて参加者分の椅子を円形に並べておく。 ○グルーピングに意図を持たせる場合は事前に組んでおく。		
時間	アクティビティの展開	展開のポイント	準備物
導入 2	ワークの主旨確認	○リード文を読みながらねらいを確認する。	ワークシート
書き込み 5	ワーク1 1) ワークシート記入	○記入方法を説明する。 ○自分の考えで記入するよう声をかける。 ○自分の学生時代を振り返ることにより、高校入学当初の揺れ動く心に共感する。	筆記用具
インタビュー 10	2) フロア内を移動しながら多くの人と触れ合う。	○おのおの自己紹介も兼ねて、ワークシートをもとに自分の興味のあるテーマを多くの人に聞いてみる (アイスブレイクの要素が含まれている)	
合計 15			
説明 3	1) グループ分け 2) 自己紹介と導入 (高校生の退学状況)	○4～6人のグループに分け、グループごとに座れるように 机をセッティングする。 ○グループごとにメンバーが自己紹介をする。 ○ファシリテータが資料をもとに栃木県内の退学等の状況について説明し、1年生の占める割合が多いことを認識してもらう。	
書き込み 10	ワーク2 エピソードを読んだ感想を話し合う 自分の子どもの状況を考える	○エピソードは、ファシリテーター、個人、グループで分担して読んでもよい。 ○個人で感想を書き込んでもらう。 ○「あなたのお子さんはどうでしょうか。」と自分の子どもの状況を考えてもらう。 ○書き込みが終わったら、グループの中で書き込んだ内容について話し合う。	筆記用具 大きめの付箋紙
話し合い 10			
合計 20			
書き込み 5	ワーク3 A君にどんなアドバイスをするか考える	○個人で考え、書き込んでもらう。 (できるだけたくさん)	筆記用具 大きめの付箋紙 模造紙
話し合い 15		○イメージしにくい場合は、 「A君にどうなって欲しいのか考えてみましょう」 「あなただったら、なんといって欲しいですか」 等、補助的な質問を投げかけてみてよい。 ○書き込みが終わったらグループの中で話し合い、模造紙にまとめる。 ○一つの意見に集約するのではなく、例えば「父親の役割」「母親の役割」「家族の役割」等といった視点でまとめられると良い。 ○グループごとに発表する。	
発表 10			
合計 30			
書き込み 10	ふりかえり	○全体の活動をふりかえり、ふりかえりシートに記入する。 ○高校生は自立や親離れの時期である。親子の会話も疎遠になりがちだが、子どもが悩んだり迷ったりした時それをしっかりと受け止められる親でありたいと投げかける。(家庭は子どもの心の拠り所)	

V-4 私の夢・僕の夢、そして今の自分と

～後悔しない進路の実現に向けて～

対象：中学生～高校生の子を持つ保護者
時間：90分程度

ねらい	フリーターやニートの増加が社会問題化している現在、好ましい職業観を持ち、自立することが若者に求められている。こうした中で、中学生・高校生の保護者が自らの職業選択時を振り返り、若者の就職の現状と比較することで、親として子どもへの支援について考える。		
実施のポイント	○現代の若者の就職事情を理解することができたか。 ○若者が自立するために、親がどうすべきかを考えられたか。		
事前の準備	○会場を、机を囲んで4～6人程度座れるようにセッティングしておく。 ○グルーピングに意図を持たせる場合には、事前に組んでおく。 ○プリントは各ページ別刷りとし、初めに1枚目のみを配布する。 ○導入部で使う自己紹介用のカードを人数分準備しておく。		
時間	アクティビティの展開	展開のポイント	準備物
導入 10	ワークの主旨説明 アイスブレイク ・自己紹介 自分の子どもの職業選択について考えること： 昨今の高校生の就職状況についてのデータ説明	○指導者の自己紹介など、温かい雰囲気を出す。 ○リード文を読んで今日の学習のねらいを説明する。 ○左のようなカードを用意し、各自記入後、おのおの自己紹介を行う。 (このアイスブレイクは、以後のアクティビティの導入となるのでなるべく行うようにする。また、参加者が初対面の人が多い場合は、必要に応じてこの前に別のアイスブレイクを組み合わせるのもよい) ○全国や、栃木県などの高校生の就職に関するデータ（できるだけ新しいもの）について簡単に紹介し、今回の学習の導入とする。厚生労働省の報道発表資料ホームページなどを参照のこと。 (http://www.mhlw.go.jp/houdou/bukyoku/syokuan.html)	カード 筆記用具 就職状況データ
書き込み 5 話し合い 10 確認 5 合計 20	ワーク1 〈グループ〉 フリーターについて考える	○フリーターについてイメージすることを3つ以上書き出してもらおう。 ○各自が書いたことを発表しあう 予想される回答 ・生活が不安定だ ・本人の自由だ ・フリーターから抜け出すことはできるのか 等 ○2枚目のプリントを配付し資料を読んで確認してもらおう。	
チェック 10	ワーク2 〈個人〉 職業選択の時に重視すること	○ワークの方法について説明する。 ○進行役が項目を読みながら、それにあわせて書き込んでもらおう。(自分の考えに該当する番号をチェックする、回りは気にしないように伝える)	
書き込み 10 話し合い 20 発表 10 合計 40	ワーク3 〈グループ〉 あなたができること	○付箋紙に意見を書いてもらう。 ○思ったことをどんどん書いてもらう。 予想される回答 ・基礎的な学力を身に付けさせる ・基本的な生活習慣を身につけさせる ・親や大人としての経験を語る ・子どものよりどころとして、時には厳しく、時には温かく見守る ・人的ネットワークの提供 等 ○グループごとにKJ法で整理し話し合い、最後に発表する。 ○KJ法の方法について随時説明をする。 ○進行状況に応じて適宜休憩を入れる。 ○親としてどうアドバイスできるか、話し合えるとよい。	付箋紙 まとめ用紙
書き込み 10	ふりかえり	○全体の活動をふりかえり、ふりかえりシートに記入する。 自分の子どもの職業選択について、最初の考えとワークショップ終了後の見方とで比較できると良い。	